

調査概要

1) 目的

卒業生が社会で活躍できるよう大学の教育の質の向上のため、卒業生が在学中に身につける学力や資質・能力及び養成しようとする人材像に照らして、教育の成果や効果を検証する

2) ヒアリング対象企業

- ・卒業生が在籍している
- ・大学との関係性が濃い

3) ヒアリング方法

- ・電話、オンライン、メール

4) ヒアリング実施企業

- ・物流 1社
- ・商社 1社
- ・メーカー 1社
- ・建設 1社

上記業界の人事担当者

5) ヒアリング内容

- 【1】在籍している卒業生、採用活動で接触のあった在学生の様子から身に備わっていると感ずること
- 【2】大学生生活で身につけたほうがよい力・能力

調査回答

【1】身に備わっていること

- ・責任をもってやり遂げる力がある
言われたことだけをやるのではなく、自分のなかで目標を定めてやりとげることができる
- ・円満な人間関係を築いたり調整する
おとなしく見えるが、コミュニケーションをとりながら前向きに取り組んでいる
性別や年齢層の違う取引先に相手の立場を理解した対応ができる
プラスアルファの気遣いが新しいビジネスに広がっている
- ・目標を設定し、計画的に実行すること
- ・自分の意思を持った対応ができる
- ・物事を批判的・多面的に考える
思い込みからではなく、あらゆる方面から検証する力がある

【2】大学生生活で身につけたほうがよい力・能力

・社会を取り巻く環境が大きく変化するので、従前に捉われない柔軟な発想を持ちながら業務に取り組んでいく力がとても大切である。

- 自分で考えて行動できること
- 自分の一行動がまわりにどのような影響があるかを想像できること
- 俯瞰して物事を見られること
- 誠実性
- 無駄なことかもしれないが足を運ぶことが大事

以上